

2021 年度 事業計画書

学校法人 白梅学園

目 次

学校法人白梅学園役員一覧（2021 年 4 月）	1
[I] 2021 年度理事長方針	2
[II] 2021 年度部門長方針及び重点取組	4
1. 学園・法人事務局	4
2. 白梅学園大学／大学院／短期大学	5
3. 白梅学園高等学校	6
4. 白梅学園清修中学校・中高一貫部	7
5. 白梅幼稚園	8
設置学校の概要	9
学園組織図（2021 年 4 月）	11
[III] 2021 年度の主要な事業計画	12
1. 教育活動の推進	12
2. 研究活動の推進	14
3. 学生・生徒・園児支援の推進	15
4. 学生・生徒・園児の確保	17
5. 学園広報の推進	18
6. 国際交流の推進	19
7. 生涯学習・社会貢献・地域連携等の推進	20
8. 卒業生との連携等の推進	22
9. 働き方・仕事の仕方の見直し	23
10. 建学の精神の高揚	24
11. 令和充実 5 カ年計画・80 周年記念事業	25
12. 大学・短期大学新棟・施設中長期整備計画	26
13. 財政再建計画	26
14. ガバナンス強化、意思決定の迅速化・透明性の徹底	27
15. 管理運営（施設改修・更新・労務他）	29
16. 情報化教育/ICT	29
17. 新型コロナウイルス感染症関連	31
[IV] 2021 年度予算	33
1. 予算編成方針	33
2. 予算の特徴	33
3. 収支見通し	34
4. 資金収支予算の概要	35
5. 事業活動収支予算の概要	36

学校法人白梅学園役員一覧（2021 年 4 月）

理 事 長 井原 徹

理 事 高田 文子

理 事 福丸 由佳

理 事 武内 彰

理 事 山田 裕

理 事 大林 泉

理 事 兼清 信生

理 事 田村 敦彦

理 事 秋田 中子

理 事 増田 昭一

理 事 長倉 澄

理 事 高 為重

理 事 西井 泰彦

理 事 細江 卓朗

理 事 牧野 光昭

監 事 池田 勝

監 事 金子 武弘

[I]2021 年度理事長方針

2020 年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された年であった。2021 年度もコロナが、事業展開に大きな影響を与えると考えておくべきである。2021 年度は、教育研究、業務遂行等すべての事業展開において、ウィズコロナ、ウィズリモートを念頭に事業を推進していく必要がある。

教学面で言えば、大学・短期大学において、今までの教育（授業）手法の連続や単なる復活ではなく、教育目的である「知識の伝達」と「知識の知恵への転換」という二つの目的を、リモートとリアルという二つの手法で達成すべく、パラダイムシフトを試みなければならない。高等学校・中学校においては、リモートを、学びの中に一定程度定着させる工夫が求められる。

経営面においても、「財政の健全化」の促進と並行して、大学・短期大学新棟建設への準備、ICT 環境充実を加速させなければならない。2020 年度には「大学・短期大学新棟建築委員会」「大学・短期大学将来構想策定委員会」「中等教育検討委員会」「幼児教育懇談会」が出揃った。新たな教育研究の展開のための「仕組み」はほぼそろった。今後は、目的に沿っていかにその内容を充実させるかが問われる。教職協働の各種プロジェクトチームもいくつか揃い、教育研究充実体制構築への準備が加速されている。これらの活動の活発化を期待したい。

さらに、教職員の働き方を改革し、また、教職員それぞれの経営への寄与のあり方を問い直して、遣り甲斐や達成感を高める方策も展開していきたい。中でも職員が果たすべき役割を再検討し、目的達成に直結する組織へ再編成する等の方策によって、政策の継続性、総合的政策展開、教学支援体制の充実等に寄与する職員の育成に力を入れていくべきと考えている。

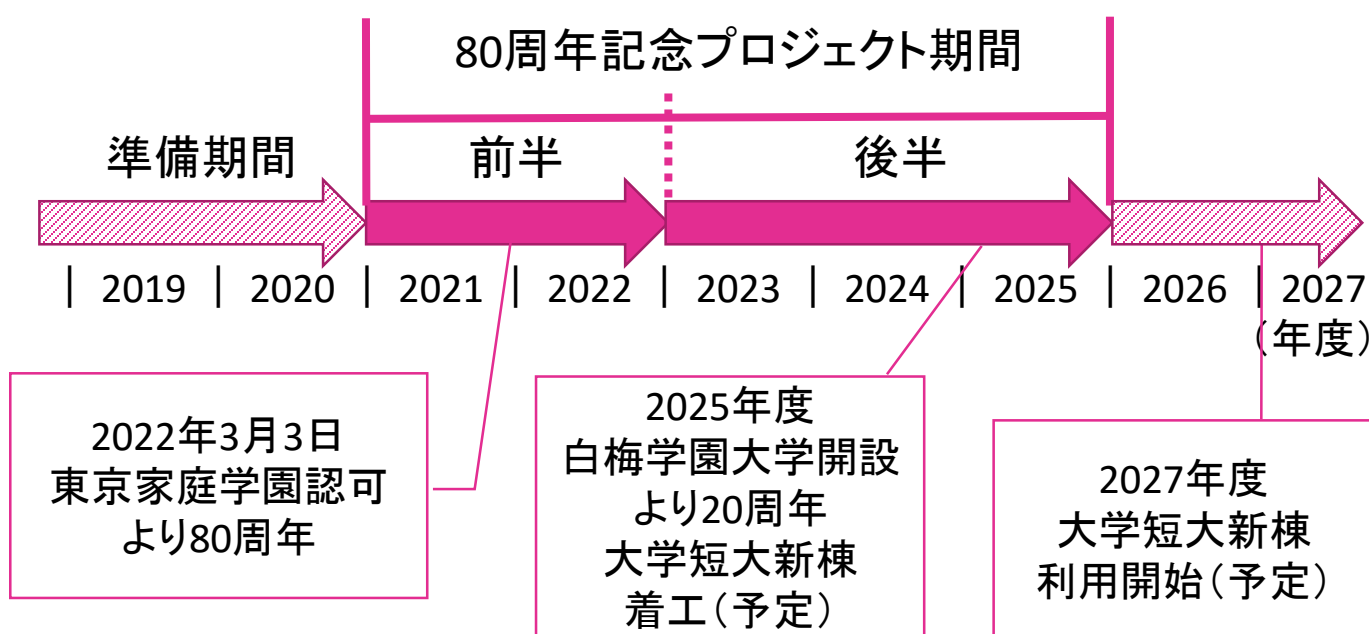
2021 年度は、2022 年 3 月に迎える「創立 80 周年」に向けて、白梅学園の教育・研究・社会貢献等の整備充実を加速する年度にしたい。

（理事長 井原 徹）

Shiraume Reiwa Project

白梅学園 令和充実5ヵ年計画

- ・ 創立80周年である2022年を中心にした5ヵ年
 - ・ 2019-2020年度: 準備期間
 - ・ 2021-2022年度: プロジェクト前半
 - ・ 2022-2025年度: プロジェクト後半



- ・ キャッチフレーズ(例)
ひとつになって、その先の白梅へ。
子どもたちの未来に向かって。

・ 基本施策

- ・ 白梅学園グランドデザイン
- ・ 各学校の教育充実策
 - ・ 大学短大の新棟: プロジェクト期間内の着工を目指す
- ・ 財政再建策
- ・ 記念事業、及び募金の実施

[Ⅱ]2021 年度部門長方針及び重点取組

1. 学園・法人事務局

2021 年度は、学園の「令和充実 5 カ年計画」（2021 年度～2025 年度）の初年度にあたります。新型コロナウイルスの影響は続く中ですが、感染症対策を実行しながら、学生等の学修機会の確保を行いつつ、「学園の持続的存続・発展」の実現のために、以下の点につき重点で取り組みます。

(1) 学園

①学園創立 80 周年記念事業につき、実施する行事の具体化に向けて委員会での審議等を促進し、検討に着手します（学園史編纂・建学の精神の共有、募金活動、記念式典等）。

②教育活動の一層の発展のため、部門連携して以下の検討を引き続き行います。

・大学・短期大学 将来構想策定委員会（2021 年 12 月中間答申）、建築委員会（2022 年 6 月基本計画答申）。

・中学・高校 清修中学校・白梅学園高等学校の今後の具体的なあり方につき、2020 年度 3 月末の経営面、教育面の報告を基に、総合的な検討を行います（2022 年度 3 月末）。

・幼児教育懇談会 幼稚園と大学・短期大学と合同での懇談会を継続して、大学附属幼稚園の魅力の具体化や連携策について検討します。

③大学・短期大学・中学・高校

対面授業とオンライン授業の今後適切なあり方について各学校にて検討し、2021 年 9 月に理事会に報告します。

④学園広報の推進

学園の取り組みを外部の方々により一層ご理解いただくために、学園広報活動の推進を引き続き行います。

(2) 法人事務局

①学園の持続的存続・発展のため、財政再建に引き続き取り組みます。

②学生・生徒・園児数の安定的確保に向けて引き続き全学で取り組みます。

③私学法改正の趣旨を踏まえ、ガバナンス強化に取り組みます。

（事務局長 大林 泉）

2. 白梅学園大学／大学院／短期大学

2021 年度の事業計画の重点項目は以下です。FD (Faculty Development)、SD (Staff Development) の課題を明確にし、教職員の意識とともに、インセンティブを高めることによってその実現を目指していきます。

(1) 学生の学びの質的向上にむけての環境整備

2020 年度コロナ禍において奇しくも経験値となったオンライン授業の利点を生かし、ポスト・コロナ時代をも見据えた学びの構築と ICT 環境整備を進めます。

(2) 大学・大学院・短期大学の将来像の明確化と建築事業計画の推進

将来構想策定委員会における 2020 年度の議論を継続、具体化して進めるとともに、発展する大学としての展望を描き、それに基づいて建築事業計画においてハードウェア面も具現化していきます。

(3) 知の拠点としての研究の活性化と地域貢献

「子ども学研究所」の事業（研究調査・地域連携・成果発信）の取り組みを充実・発展させます。特にメインの領域である保育学・子ども学については、共同研究などの活発な展開が実現するように教員の研究環境の向上を目指します。

子ども学アーカイブス（古田家蔵書プロジェクトほか）など知の集積拠点事業は継続的にすすめる、価値ある財産としての整理と発信をしていきます。

地域連携では、子育て広場・小平地域連携・西ネットをはじめとするこれまでの繋がりを継続・発展させます。また、小平市・国立市・東村山市などの周辺自治体との連携や専門家としての事業協力に貢献します。さらに大学間連携、国際的視野をもつ取り組み、およびリカレント教育（現職者教育）の前進を目指します。

(4) 「変革をもたらすコンピテンシー¹」の共有と教育の成果の見える化

これからの時代を生きる学生たちの「変革をもたらすコンピテンシー」(OECD)を本学として明確化、共有化し、カリキュラムや教育活動における実現を目指します。その達成と見える化は、学生数の安定的確保につながると考えます。

(5) 建学の精神の共有と歴史的文化情報の整理

学園創立 80 周年を機に白梅学園の歴史を学び・継承する準備をすすめます。同時に建学の理念—ヒューマニズムの精神（人間尊重）の理解を深め、変革の中に根付かせます。

（白梅学園大学・短期大学 学長 高田 文子）

¹ コンピテンシー：資質・能力

3. 白梅学園高等学校

中期計画（第3年次）に基づき2021年度事業計画を策定し、効果的实践を経て所期の目標を達成したい。

(1) 教育活動の推進・研究活動の推進

学校 ICT 環境の下、1 学年全生徒に iPad を持たせて双方向型授業を展開する。あわせてデジタルコンテンツの積極的活用を通して、探求学習を活発に展開する。

並行して、教科間連携を強化するために授業研究を充実し、多様な校内研修を用意し実施する。

(2) 生徒支援の推進

高大連携プログラムを充実するため、津田塾大学、武蔵野美術大学との教養ベース特別講座を開設し、両大学から講師を招聘して指導を受ける。

あわせて従来から実施している 22 世紀 SFP（22 世紀白梅 Frontier Project）について、継続講座（西川講座）の拡充と新規講座の開拓を進める。

(3) 生徒の確保

募集対策部を中心に、学校をあげて女子単独校の強みを中学校、塾等に浸透させる。あわせて同窓会に呼びかけ、学校を支え育てる体制を整備する。

(4) 国際交流の推進

現在実施しているニュージーランド語学研修（春季休業期間 2 週間）、ターム留学（1 月末～4 月初めの 3 か月間）の上位プログラムとして、セント・ドミニク・カレッジ（ニュージーランド国）と姉妹校プログラム締結の準備に入る。そのために父母と先生の会の協力を得て、ホームステイ確保のための組織体制を構築する。

(5) 働き方・仕事の仕方の見直し

放課後のさまざまな生徒個別指導を充実させることが重要である。そのために部活動指導員の確保促進を図り、制度をより効果的なものとする。

(6) 建学の精神の高揚

生徒・教職員と白梅学園の連帯感を高める必要がある。そのために建学の精神を踏まえた高等学校教育 3 ポリシーを周知し、3 ポリシーに基づく教育活動を展開する。

（※3 ポリシーは 2019 年度中に策定済。2020 年度周知・実行。）

（白梅学園高等学校 校長 武内 彰）

4. 白梅学園清修中学校・中高一貫部

2020 年度「白梅学園中等教育あり方検討委員会」により清修中学校・中高一貫部の今後のあり方についての検討が始まった。そこでの議論の中で、本校の6年間の中高一貫教育に対する魅力とは何かが問われている。これまで、学校の特色と魅力を鮮明にすることの必要性和対応策を早急に具体化することが求められてきた。「6 年間一貫教育」「女子校」「英語教育」の特色を、学校運営及び生徒募集の広報活動に生かしたいと考え、学校の特色の『見える化』を図る必要があり具体的な計画を立案し実行してきた。

また、2020 年度の学校説明会に参加した保護者からのアンケートによると、本校の教育方針や教育活動に共感して、ぜひ清修にという強い志望動機をうかがい知ることができる。特に、これからの時代に求められる英語によるコミュニケーション能力を育成する英語教育の内容、学校説明会で来校者の案内や進行を担当する中学 1 年生から高校 2 年生の生徒の姿から女子一貫教育の魅力などを受け止めていただいている。

そこで、本校の特色として掲げる具体的な取り組みを、他校との差別化をより一層図っていくことにより、本校の特色を鮮明にしていきたい。

中高 6 年間の一貫教育で育てる「確かな学力」と「豊かな心」

確かな学力・豊かな人間性の育成と、変化する社会に主体的に対応し得る能力・創造性を養うことを教育目標とし、その実現のために以下の教育を行う。

(1) 主体的な学びの中から確かな学力を育む

「スチューデントブック」「スコラ」から、教科や学年を超えて全教員で全生徒の学習・生活の状況や実態を把握し、適切な指導を行う。

(2) 清修の教育プログラム「リーダーシップ・プログラム」(生徒の主体性・自主性を育む)

一人一人の主体性や個性を大切に、生徒の個性を生かした活躍の場を、学校生活や学校行事の中に意図的に取り入れていく。

(3) 女子教育の推進

異学年で活動することを通して、身近なところに、素敵な先輩がいることに気づき、目標として生活したり学んだりしていく。「あこがれは、いつか自分をそこに押し上げてくれる」

(4) 英語教育の充実

英語の授業週 7 時間中、5 時間はネイティブによる All English の授業で、英語で表現することを楽しめる「英語を使う、使える環境」を実現する。

(5) 日常的な教育活動に ICT 機器の活用

日常的に電子黒板を活用した授業を展開するとともに、2021 年度からは中学生一人 1 台タブレット端末を貸与し、中学 3 年生終了時点で、表現の手立てとして、Word/Excel/PowerPoint を使用できる ICT スキルを高める。

(白梅学園清修中学校・中高一貫部 校長 山田 裕)

5. 白梅幼稚園

白梅幼稚園は大学附属幼稚園として、次の役割を十全に果たすことを目指す。

- (1) 大学・短期大学の教育・研究と連携・協力を積極的に図り、子ども自ら遊ぶ先進的な実践とその研究を行う。
- (2) 実践と研究の成果は、幼児教育関係者や園関係者に広く発信、提案を行うとともに、各関係者との交流から新たな課題を得てさらなる実践・研究とその提案を行う。
- (3) 優れた実践と研究を継続、推進するために、充実した保育環境の構築や、教員研修の充実を図るとともに、社会的ニーズへの対応や地域への貢献を行う。

以上に基づき、2021 年度は以下の課題に取り組む。

(1) 先進的な幼児教育の実践と研究の推進

- ・月 1 回の園内研究会を中心に、幼児教育の先進的な実践と研究を推進する。
- ・研究の成果を取りまとめ、公開保育会の実施やレポートの発行などを通して、幼児教育の提案を行う。
- ・他園や大学・短期大学等との交流を推進し、教員研修を充実させる。

(2) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化

- ・大学・短期大学の教育・研究の場として幼稚園のさらなる活用を図るとともに、学術研究の成果の還元を受けて、幼児教育の実践や研究を充実させる。
- ・大学・短期大学との連携・協力の強化と円滑化に向けた方策について、大学・短期大学と協議する場を設け、大学附属幼稚園としての先導的なあり方を構想する。

(3) 白梅幼稚園の広報活動の充実

- ・ホームページの刷新や広報誌等の充実、ネットワーク環境の積極的活用を図り、地域や保護者、幼児教育関係者等に向けた本園の諸活動の広報を一層強化する。
- ・保育参観や施設参観への対応を充実させる。
- ・様々な関係機関と連携を図り、関係地域の拡張を図る。

(4) 2 歳児クラスの内容の充実

- ・指導計画の随時の見直しと計画の確実な実行を図る。
- ・2 歳児の保護者への支援と広報を通して、次年度の入園募集に接続させる。

(5) 預かり保育の内容の充実

- ・預かり保育への希望者の増加に対応するとともに、預かり保育での過ごし方や活動などを見直し、充実させ、社会的ニーズをふまえて保護者の支援を積極的に行う。

(白梅幼稚園 園長 本山 方子)

設置学校の概要

白梅学園大学大学院

研究科・専攻科名		入学定員	収容定員
子ども学研究科	修士課程	15	30
	博士課程	7	21
合 計		22	51

白梅学園大学

子ども学部	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
	子ども学科	135	10	560
	発達臨床学科	50	10	220
	家族・地域支援学科	40	10	180
合 計		225	30	960

白梅学園短期大学

学科科名	入学定員	収容定員
保育科	95	190
合 計	95	190

白梅学園高等学校

		入学定員	収容定員
全日制課程普通科	高等部	280	840
	清修中高一貫部	60	180
合 計		340	1,020

白梅学園清修中学校

	入学定員	収容定員
白梅学園清修中学校	60	180
合 計	60	180

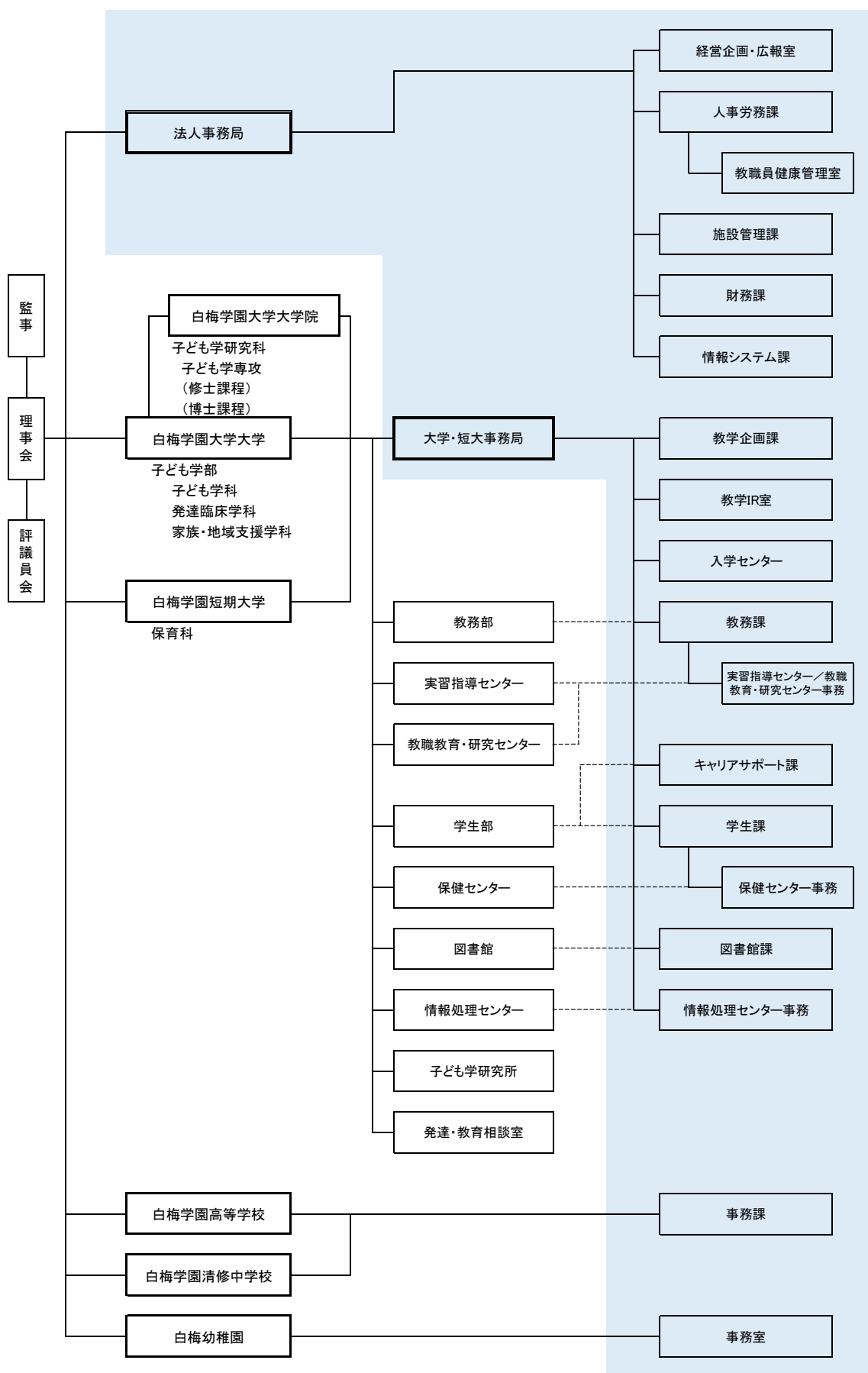
白梅幼稚園

	入学定員	収容定員
白梅幼稚園	70	210
合 計	70	210

白梅学園合計

学科名等	入学定員	編入学定員	収容定員
白梅学園大学大学院	22	－	51
白梅学園大学	225	30	960
白梅学園短期大学	95	－	190
白梅学園高等学校	340	－	1,020
白梅学園清修中学校	60	－	180
白梅幼稚園	70	－	210
合 計	812	30	2,611

学園組織図 (2021 年 4 月)



[Ⅲ]2021 年度の主要な事業計画

1. 教育活動の推進

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

2020 年度に追加

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 清修の今後のあり方検討

2020 年度の学園中等教育検討委員会、清修経営検討委員会の中間報告を踏まえ、清修のあり方について教育面、経営面を総合的に検討し、白梅学園高等学校との連携も含めた検討をさらに進め、理事会に報告を行う。検討委員会には、4 月から白梅学園高等学校校長も参加を予定している。

検討にあたっては、経営上の合理性だけでなく、両校の保護者・生徒にとってもプラスとなるように留意する。教育面では、清修中学校・中高一貫部、白梅学園高等学校にて、研修会等共同開催し、相互理解とともにそれぞれの良さを活かしていくことも同時に進めていきたい。

期限については、当初 2022 年 3 月に清修のあり方につき理事会で決定し、2023 年 4 月から保護者等への説明という段取りであったが、清修中学校への 2021 年度入学者が 45 名となり、白梅学園高等学校に新しい校長が就任すること等を踏まえて、今後の検討期限については、弾力的に考えたい。秋口に途中経過を理事会、中高教員会等に報告し、意見を聞きながら進めたい。

(2) 学園の幼児教育のあり方検討（幼稚園／大学・短期大学）

日常の保育をベースにしながら、募集につながりそうなこと、大学・短期大学との関係、研究の発展につながることにについて、月に 1 回程度のペースで懇談会を実施する。2021 年度末までに、積み上げた議論をもとに保育の課題の明確化と課題解決に向けて方法を模索、2022 年度懇談会の見通しを立てる。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

これからの時代を生きる学生たちの「変革をもたらすコンピテンシー」(OECD)を本学として明確化、共有化し、カリキュラムや教育活動における実現を目指す。そのために、教学マネジメントをシステムとして確立させ、学修者本位の教育の実現を図るための教育改善に取り組む。

また 2021 年度においては、対面授業を可能な限り実施するとともに、2020 年度の経験値となったオンライン授業の利点を生かし、学部授業の一部と大学院授業にオンライン授業を取り入れ、ポスト・コロナ時代をも見据えた学びの構築を進める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 教育成果の見える化

卒論ルーブリック（汎用的な評価指標）を策定し、それに基づき、2 月に卒論評価を実施する。

教学マネジメント・IR²委員会において、学修成果の獲得状況を検証し、新たな課題を抽出する。

(2) 対面重視による授業実施

4月から対面を原則として授業を実施する。また、一定のルールに基づき、オンライン授業もあわせて実施する。

【白梅学園高等学校】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 現行並びに次期学習指導要領に基づくカリキュラムの準備・実施・管理
- (2) 現行カリキュラムの実施・管理・評価
- (3) 新カリキュラムの準備（前倒し導入）
- (4) 新カリキュラムの実施・管理

中期計画3年目達成目標／事業計画

2020年度に策定した「3ポリシー」に基づき、2022年度入学生から施行される高等学校での新指導要領の展開を視野に入れ、授業内容の見直し、改善を行っていく。特に大学入学共通テストにおいて問われる「思考力」「判断力」「表現力」を養う授業展開を研究し、実践していく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 英語教育に関わる教育活動の充実

異文化に興味・関心をもち「聞いてみたい、話してみたい」という意欲をもって、積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成し、多様性を受容できる態度を育てる。

- (2) 少人数女子教育の推進

「厳しい環境においても、自分をしっかり持ち、未来を切り開いていくことのできる女性を育てる。」(本校の教育理念)。大きく変化する社会にも対応でき、どのような環境においても、自分らしさを発揮できる女性を育てることを目指す。そのために、思考力・判断力・表現力を身に付けるよう指導する。

- (3) 日常的な教育活動の中でのICTスキルの向上

日常的に電子黒板を活用した授業を展開するとともに、中学3年生終了時点で、表現の手立てとして、「Word・Excel・PowerPointを使用できるICTスキル」を高める。

中期計画3年目達成目標／事業計画

- (1) 英語教育に関わる教育活動の充実

英語の授業週7時間中、5時間はネイティブによるAll Englishの授業で「英語を使う、使える環境」を実現する。

² IR: Institutional Research 大学情報機関調査

(2) 少人数女子教育の推進

生徒主体のスポーツフェア、清修フェスタ、清徒会を中心として企画する学校説明会などの学校行事を実施するにあたり、生徒の自分らしさを発揮させる機会と場を意図的計画的に設定する。

(3) 日常的な教育活動の中での ICT スキルの向上

2021 年度、中学生にひとり一台 PC を貸与し、タブレット端末を主体的な学びのなかで活用できる生徒を育てる。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現する。

(2) 大学附属幼稚園として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究にする。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 子ども自ら遊ぶ幼児教育の実践

自由遊びを主とする子ども中心の保育を実施する。カリキュラム・マネジメントにより、日々の保育や行事等を振り返り、年齢に応じた保育を更新していく。

(2) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化

大学・短期大学の教育実習生 30 名程度を受け入れ、指導を行い、保育者養成教育に貢献する。また、大学・短期大学の授業やゼミ等と連携・協力し、園児及び学生双方の諸活動の充実を図る。大学・短期大学で開講する授業等に対し、参観の場の提供や、幼児教育の実践や保育職に関する話題提供などを通して、協力を行う。

2. 研究活動の推進

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

「子ども学研究所」における事業を中心に、研究調査（特に保育学・子ども学における共同研究の活発な展開）・地域連携・成果発信の取り組みを充実・発展させるとともに、知の集積拠点事業（子ども学アーカイブス）を進める。また、研究推進の成果を大学院教育の充実に還元する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 知の集積拠点事業の推進

古田家蔵書プロジェクトの継続と成果の発信を行う。

(2) 科研費の申請件数の増加

科研費等の研究申請情報の発信、早期からの研究計画書の作成支援を行い、10 月の科研費申請件数の増加につなげる。

【白梅学園高等学校】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

校内研修会や校外研修会の機会を設け（学期に最低 1 回）、教員の教育力や問題解決能力のスキルを高めていく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

生徒のよさや可能性を伸ばすために、「個人内評価」を生かした評価を実施していく。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) タブレット端末を活用した授業研究

授業公開を前期 2 回、後期 2 回実施して、教員がタブレット端末を有効に活用する指導力の向上を目指す。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現する。

(2) 大学附属幼稚園として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究に貢献する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 子ども自ら遊ぶ幼児教育の研究

毎月、園内研究会を行い、子どもの育ちと保育のありようについて協議し、実践研究を推進する。また、公開研究会を開催するとともに、他園の参観を通じた研修を進め、他園の保育者等との交流を図る。

(2) 保育環境の最適化の研究

2020 年度の園庭プロジェクトを発展的に継承し、園庭や保育室等の保育環境について最適化を目指して再構築していく。

(3) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化

大学・短期大学の研究・調査に協力し、その成果についてフィードバックを受ける。

幼稚園が推進する研究について、大学・短期大学の教員から指導・助言を受けてさらなる改善・展開を図る。

大学・短期大学と幼児教育懇談会を開催し、幼稚園の課題について意見交換を行うとともに、保育実践への示唆を受け、保育の一層の工夫を図る。

3. 学生・生徒・園児支援の推進

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

学ぶ意欲のある学生が、充実した学生生活を送ることによって自己の能力を伸ばし、目指すキャリア実現が図れるよう、ひとりも取り残さない持続可能な支援体制を構築する。

特に、心理面での支援や障がい学生への支援にとどまらない、さまざまな困り感を持った学生に対して、組織的に対応することを目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 生活困窮学生への継続的な支援

フード・パントリー（食料等配布）を 4 月から定期的に開催する（年 10 回程度実施を予定）。

学内での学生アルバイト業務を集約して、学内ワークスタディ（学内での学生雇用）として制度化する。

(2) 学生生活支援相談窓口の検討

学生支援プロジェクトを機動的に動かすとともに、現在学生課が担っている学生生活支援相談窓口について、組織的な見直しを 12 月までに検討し、必要に応じて将来ビジョンに反映させる。

【白梅学園高等学校】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

(1) 大学等進路実績の向上

(2) 理数科系強化（文理融合型実現の整備 早慶上理等、医薬看等）

(3) 在京国立難関大学プログラム（東外・東学・筑波・一橋・東大（推薦）等）

(4) 外国語・教養系私学プログラム（秋田教養・APU・早稲田国教・上智国教・立教）

(5) 海外大学進学プログラム 進学相談室設置・ガイダンス業務準備・長期留学・ターム留学・姉妹校提携

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

中期実行計画の 3 年目にあたり、大学進路実績が向上するよう取り組んでいく。特に理系科目に力を入れ、数学や理科においての生徒の学力向上を目指す。また、進路指導の内容をますます充実させ、生徒たちが早い段階から自分の目標をつかみ、それに向かって努力していくよう、効果的な指導を行う。さらに、生徒が伸び伸びと学べる環境を維持するよう、生活指導部が中心となって環境整備に努める。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

一人一人の生徒の教育的ニーズに応じて適切に支援できる体制を整備する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 校内委員会の機能を生かす

校内委員会の定期的な開催を通して、生徒への支援のあり方を区分し、優先度を配慮して対応していく。また、特別支援コーディネーターを中心に、外部関係機関との連携を図る。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現する。

(2)大学附属幼稚園として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究に貢献する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 特別に支援を要する子どもの育ちの保障

大学の教育相談機能を活用し、発達相談室と連携して、子育てや発達の相談に対応する。また、小平市の巡回相談を活用し、要支援の子どもの育ちに関して助言を受け、保育や子ども理解に活かす。担任等においては、担当クラスの子どもの意欲や関心、活動の状態を把握し、育ちを促す保育を実践する。

(2) 学生・生徒ボランティアの導入

保育環境整備や保育補助等について、高校生に加え学生ボランティアを導入し、保育の安定を図るとともに、学生・生徒の保育経験を充実させる。

4. 学生・生徒・園児の確保

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

入学定員 100%以上の入学者数を確保し続けるとともに、本学の教育方針をより理解して志望する学生の確保に努める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 多様な形態での募集活動

オンラインでの入試相談など、新たなかたちも取り入れた募集活動を展開する。

(2) 総合型選抜の検証

2021 年度入学生の選抜試験において全学科で実施した総合型選抜について、入学後の状況も踏まえた検証を 12 月までに行う。

【白梅学園高等学校】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

(1) 生徒募集の推進

(2) 特別選抜 ISG・選抜の改善

(3) 保育・進学レベルアップ

(4) 学校ホームページの改善・充実

(5) 学校のスマート・スクール化

(6) ICT 環境整備（施設整備）

(7) EdTech 授業の展開（試行過程 1 年を含む）

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

280 名入学を目標に、少なくとも 260 名以上の入学を目指す。そのために、中学校訪問、体験入学会、学校説明会、入試相談会などの募集行事の内容をさらに充実、発展させ、白梅の良さを十分に伝えられる効果的な募集行事にしていく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

英語教育、中高一貫の女子校など魅力ある学校の特色を鮮明にして募集活動に取り組む。そのために、戦略的な塾訪問を企画する。また、学校説明会では多様な企画を立案して、本校で活躍する生徒の姿を紹介し本校が求める生徒像を小学生保護者に定着させる。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 募集体制の整備

入学者数を定員60名を目標値として、40名以上を持続的に確保するための募集体制を整える。

(2) 知名度、認知度の向上

入学志願者の増加要因を分析し、毎月の学校説明会、随時SNS情報発信やマスコミへの情報提供により学校の特色の認知度を上げていく。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

(1) 大学附属幼稚園の強みを未就園児の会や園内イベント等で発揮する。

(2) 未就園児(2歳児の保育)の保育の内容を見直し、今以上の充実を目指す。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 2歳児クラスの拡充と保護者支援

2歳児クラスについて週1回または週2回の利用選択を可能とし、内容の充実を図る。保護者と信頼関係を築き、子育て等に関する相談に対応する。

(2) 募集対策の強化

入園説明会の構成を刷新し、参加者の十分な理解を促し、疑問に丁寧に応える。入園説明会における提示資料や配付資料を充実させ、終了後への関心の継続やホームページの閲覧を誘う。関係諸機関にパンフレットやチラシなどの設置や配付を依頼する。

5. 学園広報の推進

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

白梅学園の良い取り組みや魅力を地域や保護者・志願者等学園内外に、より理解してもらえるよう広報体制を見直し、具体的な発信の仕組みを定着させる。

中期計画3年目達成目標／事業計画

学園ならびに各学校の広報担当者にて以下の検討を行う。

(1) 各学校から学内外に向けて積極的に情報発信を行う体制作り。

(2) ホームページリニューアル検討。

(3) 「地域と教育」について、目的・内容(仕様)・配布先などの見直し。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学としての広報・情報発信を積極的に行い、白梅学園大学・白梅学園短期大学の存在を広める。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 事務業務分掌としての明確化

新事務体制において業務分掌として明確に位置づけ、大学としての広報・情報発信の業務フローを8月までに構築する。

(2) ターゲットを意識した発信の工夫

ホームページリニューアルに合わせ、発信ターゲットを明確にしたホームページ作りを行う。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現する。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 紙媒体による広報活動の充実

広報用パンフレットやチラシの作成や、園だよりの刷新を行い、園内外に配付する。毎月クラスだよりを発行し、子どもの様子や育ちを広報する。

(2) ネットワーク環境の活用による広報活動の充実

ホームページを全面的に刷新し、随時の情報更新によって園内外への広報を行う。「さくらしすてむ」の運用により、保護者には画像を通した広報を行う。

6. 国際交流の推進

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学の諸活動、及び教員の研究活動について、英文での情報発信を強化する。また、教員の国際交流の活性化を図るとともに、学生の国際化意識を高める。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) ホームページにおける英文発信ページの増加

英文で発信する内容を8月までに精査し、必要な経費を算出し、必要に応じて予算申請する。

(2) 国際交流活性化の支援策検討

子ども学研究所にて、一部教員で既に国際交流・連携を実施している教員等の事例・方法から、大学ができる支援策を8月までに検討する。

【白梅学園高等学校】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

現在行われているターム留学や海外語学研修の内容を検討し、さらなる充実を図る。同時に現在計画している姉妹校締結を進め、2021 年度中には本格的な締結準備に入れるよう取り組んでいく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

留学生交流、国内英語研修、海外研修の外国人とも積極的にコミュニケーションを図り、多様性を受容できる態度を育てる。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 留学生との交流

中学 2 年生を対象に、東京在住の留学生と文化交流を実施する。

(2) 国内英語研修

中学 2 年生の 3 泊 4 日の広島・京都の国内英語研修で、現地留学生との日本の歴史や文化をテーマにした交流を実施する。

(3) 海外英語研修

高校 1 年生の 2 週間海外研修で、異文化との交流を実施する。

7. 生涯学習・社会貢献・地域連携等の推進

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

地域連携協定のもとで、大学と地域の結びつきを強めるとともに、教員の社会的活動の支え、取り組みを可視化して他の活動とつなげていく。また、活動で得られた学生の「学び」の軌跡を記録し、共有化を行っていく。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 各種講座の実施

保育士キャリアアップ講座(6～3 月)、教員免許状更新講習(8 月)、公開講座(6～3 月、計 5 回予定)、市連携講座(1～3 月、計 2 回予定)を実施する。

(2) 地域ボランティアの実施

学生のキャリア形成と連動した地域ボランティアを実施する。

(3) 東村山市との地域連携協定

地域連携協定の締結に向けて、協議を進める。

【白梅学園高等学校】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

(1) 特別講座の推進(単体・継続の併用)

(2) 「白梅の学び」の構築・確立

- (3) 白梅 AL の展開と発展
- (4) 西川講座の検証・評価と発展
- (5) 新講座の開設と発展
- (6) 文理融合型授業の展開と発展

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

22 世紀 Shiraume Frontier Project の内容をさらに発展させ、生徒たちが深く多角的な教養を身に着けるよう、学びの機会を増やし、質を高めていく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

小平市内の小学生を対象に、本校の特色ある教育活動である英語学習を体験してもらう。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

- (1) 小学生英語教室
小平市内の市立小学校 5・6 年生を対象に、計 54 回のオンライン英語教室を実施する。
- (2) 英語教室交流会
英語教室参加の小学生の交流会を年 2 回実施する。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

- (1) 大学附属幼稚園の強みを未就園児の会や園内イベント等で発揮する。
- (2) これまで以上に信頼される白梅幼稚園を目指し、保護者の意見を反映した園のあり方を考えていく。
- (3) 保護者のニーズの高い預かり保育の内容を検討し、保護者のニーズと子どもにとっての有意義な預かり保育を目指していく。
- (4) 地域の方々との信頼関係を築き、地域密着の幼稚園とする。地域の子育てのセンター的役割を果たす。
- (5) 近隣大学や関係諸機関（武蔵野美術大学、公民館、高校、区立中学校、区立小学校）との連携を強化し、子どもたちの多様な体験を実施する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

- (1) 未就園児保育の実施
子育て支援の一環として、2 歳児クラスのほかひよこの会や園庭開放といった未就園児保育を定期的実施する。
- (2) 預かり保育の充実
預かり保育の希望者増加に伴い、環境の見直しと内容の工夫を行う。新型コロナウイルス感染予防対策として、2 つの部屋に分けて預かり保育を行う。
- (3) 保護者向け講座の開催や自治活動の支援
大学・短期大学と連携して、保護者向けの講座を開催する。保護者による PTA 活動（梅の実会）やサークル活動などの自治活動の実施を支援する。

(4) 地域や近隣大学との交流の推進

地域や近隣大学の協力を得て、園児の活動の多様化を図る。

8. 卒業生との連携等の推進

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

母校への愛着、帰属意識をより高め、卒業後も応援し続けてもらえる、また卒業後も頼られる大学・短期大学を目指す。また、リカレント教育を通じた卒業生の交流の場を積極的に設ける。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 同窓会と定例的な場の設定

10月に実施される同窓会総会において、講演会講師を派遣する。

(2) 卒業生を対象としたアンケート（ヒアリング）の実施

卒業生の視点を取り入れた新たな教育活動を模索するため、10月に卒業生を対象としたアンケートもしくはヒアリングを実施する。

【白梅学園高等学校】

中期計画3年目達成目標／事業計画

卒業生が社会の中でどのような活動をしているのかをなるべく多く、正確に把握し、生徒の進路指導への協力を依頼する。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

同窓会を組織する。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 同窓会の名簿の作成

入学年度ごとの代表者を選出して、名簿を作成する。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

これまで以上に信頼される白梅幼稚園を目指し、保護者の意見を反映した園のあり方を考えていく。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 卒業生、保護者OBとの連携推進

同窓会やおやじの会の開催等によって、卒業生や保護者OB・現園児保護者と交流し、園の長所や課題の認識を深めるなど本園の教育への支援を得るよう努める。

9. 働き方・仕事の仕方の見直し

【学園・法人】

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 大学・短期大学事務組織、法人事務組織の見直しと実践

2021年4月より、大学・短期大学事務組織の大ぐくり化及び法人事務組織の改編、新体制での運用を開始し、学生・生徒等、教職員からより一層信頼されるよう取り組む。2021年度に実践の中で課題を洗い出し、2022年度に課題解決に向け検討する。

(2) 事務職員の人材育成体系の策定プロジェクトチーム

変化の激しい時代環境の中、学園の持続的・存続のために、職員一人一人が個々の能力を最大限に発揮できるよう「白梅学園版 人材育成体系」を策定し実運用化する。2021年度は、2020年度の検討結果に基づき、計画的な研修制度を試行する（試行1年目）。2023年度9月までに実運用化を目指す。

(3) 働き方・仕事の具体的見直し

事務組織の改編と相まって、

- ・大学・短期大学事務局においては、事務部長をトップに、業務の優先順位、各課間の連携を迅速に行い、結果を出してゆく体制に向けて取り組む。

- ・学生サービスのより一層の向上に向け、業務の見直しを行い、重要性の低いものは見直しを行う。

- ・各課単位でも、事業計画を作成、逆算したスケジュールのもとPDCAを行うことを2021年度試行し、2022年度から本格実施する。

(4) 大学・短期大学教員の裁量労働制導入の検討

大学・短期大学教員の業務の特性を踏まえ、裁量労働制の導入の可能性について大学・短期大学と打ち合わせを行う。

(5) 在宅勤務の検討

コロナ禍を契機として在宅勤務が進んだことについて、今後出校を伴わない勤務の有り方について見直しを進め、2021年度中に具体化する。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

教職員の意識とともに、インセンティブを高めることによって、教職員が最大限の力を発揮できる環境を整え、大学・短期大学の教育及び研究の質向上を実現する。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 教職員の意識向上につながるFD・SDの実施

全学的なFD研修開催と合わせ、必要なFD活動を充実させる。

事務職員を対象としたSD研修は、法人事務局による研修計画に基づき実施する。

(2) 教員の研究環境向上

研究環境の一つである研究時間について、時間確保の障壁となっている体制の課題を明確にし、改善策を検討する。

【白梅学園高等学校】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

現在活用されている「部活動外部指導員」をさらに発展させ、現在よりもより多くの部がこの制度を活用し、教員の負担軽減につながるようにする。また、本校の教育力に影響を与えない範囲で、教員の仕事の整理、合理化を図る。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

専任と常勤の職員の業務と責任の明確化する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 学校運営組織の強化

学年、教科ごとに専任教員を配置し、専任教員の業務と責任を明確にする。また、校務分掌を複数で関わることにより、より一層有効に機能させる。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

教職員が互いに学ぶ職場を形成するとともに、業務内容を的確に遂行し、園の管理運営に貢献することを目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 業務の再編と相互連携

園の業務の再編と透明化を行い、相互の勤務状況への理解を深め、教職員間の連携協力を強化する。

10. 建学の精神の高揚

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

大学・短期大学の歴史を伝える機会を設け、先人たちの志と建学の精神を知り、人間尊重の理解を深める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 80 周年記念講演の実施

80 周年記念講演を 3 月までに実施する。

(2) 記念講演の視聴

記念講演実施後 1 か月以内に、全学生が視聴できるようにし、視聴後アンケートを実施する。

【白梅学園高等学校】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

建学の精神である「ヒューマニズム」は、具体的な施策の中に落とし込んで、ある型に当

てはめるといよりも、日々行われる本校のすべての教育活動の根底に存在するものとしてとらえている。その「ヒューマニズム」の精神の理解の仕方は、教員間で無理には統一していないが、その形のない精神が本校のすべての教育活動に影響を与えているところが、本校の教育の特徴だと考える。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

時代のニーズに応じた育てたい生徒の姿を明確にする。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1)教育実践の構造化

目指す生徒の姿を具現化するための3つのポリシーを策定し、建学の精神を目指す具体的な教育の実践を構造化する。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

学園の建学の精神に基づき、大学附属幼稚園としての歴史と実績をふまえてブランド力を高める。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1)園史関係資料の収集

大学・短期大学の専門家の助言を受け、園内の保存資料を整理し、不足している資料を洗い出す。

11. 令和充実5カ年計画・80周年記念事業

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

「令和充実5カ年計画」に基づき、2022年3月の学園80周年にむけて記念事業委員会発足し、学園史、記念行事、募金等の検討・事業の遂行を行う。

中期計画3年目達成目標／事業計画

2021年度は、80周年事業の具体的検討及び記念事業実施のための各委員会等の設置を目指す。また、正規の創立記念日前後に、創立者（穂積重遠・小松謙助）のお墓にお参りし、80周年を迎えた報告と学園の発展充実に向けた誓いを行う。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学としての将来構想を策定し、中長期的な教学プランに基づいて大学運営を進める。また、80周年記念事業の一環である学園史編纂を通して、特に大学開学以降の歩みを整理する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 将来構想に基づくビジョンの策定

「白梅学園大学・白梅学園短期大学 将来ビジョン 2022」を 12 月までに策定する。

(2) 大学開学以降の歩みの整理

「白梅学園短期大学 創立五十周年記念誌」が発刊された 2009 年以降の大学・短期大学の歩みについて、12 月までに簡略的に整理する。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

学園の建学の精神に基づき、大学附属幼稚園としての歴史と実績をふまえてブランド力を高める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 大学附属幼稚園としての実績の明確化

幼稚園創立以来の大学附属幼稚園としての実績洗い出しの端緒をつける。

12. 大学・短期大学新棟・施設中長期整備計画

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

2024 年度までに新棟の規模・場所・施設の内容等を論議決定、2025 年度大学・短期大学新棟工事着工、2027 年度供用開始を目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

2020 年度に建築委員会を設置した。2021 年 6 月頃を目途に、新棟の規模・利用用途等について建築委員会から理事会等へ中間報告を行う。理事会等の意見を踏まえ、2022 年 6 月に「新棟の建築基本計画」を作成し、理事会に諮る。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

大学・短期大学新棟について、2025 年工事開始、2027 年供用開始に向けて、建築委員会で検討を進める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 基本構想策定と基本計画の答申

建築委員会において、2022 年 6 月の基本計画答申に向けて、基本構想を策定していく。

13. 財政再建計画

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

「学生・生徒・園児の教育基盤を充実させ、学園が持続的に教育使命を果たしていく」た

めに従来の「学園の財政のあり方」を見直す。財政再建策に則り、人件費・物件費を学生・生徒・園児の教育基盤充実にシフトする。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

2021 年度は財政再建策の施行 3 年目となる。以下の取組を引き続き実施しながら、計画値・目標値との乖離を把握し必要に応じて計画修正を行う。また、各部門と目標値等の共有を図り、もう一段踏み込んだ財政構造の見直しに着手する。

- (1) 人件費・物件費見直し計画の着実な実行
- (2) 学生生徒数の安定的確保に向けた収入面の取組・計画検討
- (3) 重点方針・重点取組に基づいた新予算制度の着実な実行
- (4) 補助金等外部資金の獲得

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

収容定員 100%を確保し続け、収入の安定化に努める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

- (1) 大学・短期大学全体の定員について適切性の考察

編入生、大学院生の適正な定員を踏まえた、学部学科の収容定員を考え、12 月までに策定される将来ビジョンと整合性を図る。

- (2) 退学者・休学者の動向分析

教学マネジメント・IR 委員会において、近年の退学者・休学者の動向をつかみ、増加につながる傾向があれば、必要な施策を講じる。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

入学生徒数の確保を目指す。また、学校運営経費のスリム化をより一層図る。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

- (1) 入学生徒の確保

「4. 学生・生徒・園児の確保」参照。入学生徒に対する奨学金は、特待制度の規定に基づき適正に執行する。

- (2) 学校運営経費のスリム化

会議等のペーパーレス化は、校務処理を ICT 化するとともにより一層推進する。また、中学生一人一台タブレット端末を活用し、これまで購入してきた教材に換えて、教育効果があるオンデマンド教材を使用することにより、紙、コピー機、印刷機等の経費節減を図る。

14. ガバナンス強化、意思決定の迅速化・透明性の徹底

【学園・法人】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

権限と責任に関する規定等の見直し実施、白梅学園版ガバナンスコードの策定、内部監査

／監事機能の充実を目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 理事会と常勤理事会の権限と責任の整理に続き、2021 年度は各部門の権限と責任に関する規定等の現状と課題につき、基本的な点につき整理・見直し検討を行う（規程の有無・レベル、議事録の有無）。

(2) 内部監査を含めた三様監査は、継続実施する。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

教学組織と、それを支える新たな事務組織のもとで、ムリとムダのない大学運営組織体制を構築する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 必要な諸規程の整備

改定の必要な規程の洗い出し、改案の作成を 6 月までに行い、その後学内調整を経て、承認を得たうえで、2022 年度の体制構築につなげる。

(2) 認証評価の受審（短期大学）

認証評価受審のため、6 月までに自己点検報告書を作成し、評価機関に提出する。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

校長及び学校組織各分掌における PDCA に対する説明責任をもつ。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 教科ごとに目標の設定

教科ごとに育てたい生徒の姿を明確にして、目標達成のため中高一貫の 6 年間を前期・中期・後期と区分し、それぞれの目標と取り組みに対して検証していく。

(2) 生徒の学校生活満足度調査、教員による学校評価を分析し、次年度の教育課程を立案していく。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)

教職員が互いに学ぶ職場を形成するとともに、業務内容を的確に遂行し、園の管理運営に貢献することを目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 教員組織の機能強化

園務分掌を再編し担当業務を明確化するとともに、相互の連絡・報告を緊密に行い、互いの業務の理解を深める。

15. 管理運営（施設改修・更新・労務他）

【学園・法人】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

学生、生徒、園児の修学環境の改善・向上ならびに施設の安全確保のための改修・更新を以下の通り行う。

(1) 中高体育館(アリーナ)冷暖房設備設置

熱中症対策として、中高体育館(アリーナ)に冷暖房設備を 2021 年度末までに設置する。

(2) 幼稚園の施設改修

幼稚園の温水機器等施設の改善を行う。

(3) 清修中学校の床修繕

清修校舎の床材を 5 月の連休以降に修繕する。

(4) 書棚等の耐震固定

幼稚園、中学は、書棚・ロッカー等耐震対策が完了した。高校は、2020 年度に生徒のロッカー等固定完了し、2021 年度は教員室の書棚等の耐震固定を実施する。今後、順次、大学・短期大学、法人事務局の耐震固定を実施する。

(5) 上記のほか、変圧器の交換等設備の補修等実施する。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

建物設備の定期的な更新を実施し、学生の教育環境として、時代に即した快適な施設設備であり続けられるよう、法人事務局と協働して進める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 建物設備整備の優先順位共有

B 棟 3、4 階、E 棟、F 棟のトイレ整備について、その必要度を全学で共有し、他の建物設備整備との優先順位を 10 月までに法人事務局とすり合わせる。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現する。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 保育室等屋内施設の改修

安全面や公衆衛生面、幼児の生活の場としての最適化の観点から、保育室や室内設備について改修を要望し、部分的にでも実施を図る。

16. 情報化教育/ICT

【学園・法人】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1) 講義室 AV 設備整備[大学・短期大学]

AV 機器操作や接続手順等の標準化や教室後方からの視認性向上を図り、今後計画的に講義室の AV 機器装置の整備を進めていく。

(2)Wi-Fi 境拡充整備[大学・短期大学]

無線通信環境の改善及び学生 1 人 1 台 PC 必携化に向けて、今後オンライン環境の一層の活用が見込まれることから大学・短期大学講義室、研究室内の通信環境整備を行う。

(3)対外接続環境再整備[全学]

現対外接続ネットワーク環境は 2021 年度中に主要機器が EOL となることから、対外接続契約の全体見直しと各種通信機器の更新を実施する。

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

学習支援システム（ラーニングマネジメントシステム）の活用と合わせ、講義室の AV 設備環境の統一化を図ることで、全ての授業が ICT を活用した授業展開ができるようにし、ポスト・コロナ時代をも見据えた環境整備を進める。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1)講義室等 AV 設備整備第 2 期の実施

講義室 3 室、特別教室 1 室、会議室の AV 設備を、2022 年 2～3 月にかけて整備する。

【白梅学園高等学校】

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

2019 年度に整備された ICT 機器を十分に活用し、授業における教授法をさらに発展させ、生徒がより深く、多面的に学べるよう工夫していく。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

ICT 機器を使った新しい授業の創造を目指す。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1)タブレット端末の活用

教科ごとの活用場面を計画、実施、評価を積み重ね、ICT の効果的な活用方法や活用場面を考え、実践していく。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

ICT について、十全に活用し、保護者との情報共有や広報を円滑化することによって保育理解を促進するとともに、効果的な活用によって保育活動の充実を図る。

中期計画 3 年目達成目標／事業計画

(1)ICT システムの十全な活用

「さくらしすてむ」について、保護者との緊密な連絡や情報共有に活用する。「さくらしすてむ」を子どもの遊びや諸活動の広報に活用し、保護者の保育理解を促進させる。「さく

らしすてむ」の活用により、事務の一層の効率化を図る。各種メディアについて、保育場面において効果的な活用を図る。

17. 新型コロナウイルス感染症関連

【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

子ども・人間にかかわる幅広い分野を学ぶこと、豊かな教養の知を身につけるために必要な、人と人との出会い、交流、支え合いが生まれる場として、感染症対策を講じながら、大学における教育活動を実施していく。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 対面授業の実施と感染症対策の意識向上

対面授業を実施するにあたり、4月のオリエンテーションを通して、学生自身の感染症対策に対する意識向上を図る。

【白梅学園高等学校】

中期計画3年目達成目標／事業計画

基本的な感染対策を徹底し、生徒や教職員が、感染したことに気づかないまま登校することが仮にあったとしても、そこから校内で感染者が広がることがないように、十分な対策をとる。

【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

学校における「新しい生活様式」を確立する。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 感染症へ対応した学校の生活習慣を確立

起床時検温、登校時消毒、清掃時消毒、SD等、100%実施し、自ら考え行動する力を育成する。

(2) 学校行事のあり方の検討

学校行事のあり方や実施方法について、感染状況に応じて見直す。

【白梅幼稚園】

中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

(1) 子ども自ら感染予防に関する習慣を身につけ、健康に対する意識をもつようにする。

(2) 園生活において感染予防策を徹底し、保育の方法を工夫し、保護者との情報共有を十分に行う。

中期計画3年目達成目標／事業計画

(1) 徹底した感染予防

教職員の感染予防を徹底するとともに、遊具や用具を含めた保育環境の衛生管理に努め

る。保育や昼食における幼児同士の接触について、感染予防の点から最大限の留意を行う。
保護者への情報提供と、保護者との情報共有を十全に行い、園児や保護者の安全を守る。

[IV]2021 年度予算

1. 予算編成方針

2021 年度の予算編成は、以下の方針に基づいて行いました。

- ① 収入の範囲で予算編成を行い、活動区分資金収支計算書におけるマイナス予算は組まない。
- ② 財政再建策に基づく予算編成を行い、大短新棟のための資金を計画どおり積立てる。
- ③ 各部門の重点方針に基づく政策的に重視する項目を重点予算として編成する。

2. 予算の特徴

上記方針に基づき、以下のとおり予算を編成いたしました。

- ① 収入の範囲内で予算編成を行うことを念頭に、各部門にて実績額ベースの予算編成を行いました。活動区分資金収支計算書における支払資金の増減額は 1.7 百万円増を見込み、「マイナス予算は組まない」方針を実現しています。
- ② 財政再建策に基づき、教職員の賞与 1.0 ヶ月カット等および大短新棟のための建築資金 166 百万円の積立てを予算化しています。資金は減価償却引当特定資産に繰入れています。なお、財政再建策は概ね計画どおりに進捗しています。
- ③ 各部門の重点方針に基づく政策的に重視する項目は下表のとおりです。

■2021 年度 重点予算一覧

部門	重点施策	金額
大短	学生の学びへの支援体制の充実（教室什器の整備）	250 万円
大短	学術研究の拠点の充実・発展と地域貢献（古田家寄贈図書 関連）	110 万円
白高	生徒の安全確保（体育館アリーナのエアコン リース費用）	700 万円
幼稚園	保育環境の向上及び園児確保のための施設充実	300 万円
法人	清修中学校の募集対策の支援	500 万円
法人	職員の人材育成及び能力向上（研修費）	120 万円
	合計	1,980 万円

また、経常外の施設関連費用および I C T 関連費用への予算概要は下表のとおりです。

■2021 年度 施設設備・経常外予算 一覧

部門	経常外_施設・I C T（重点予算以外）	金額
大短	講義室 AV 設備整備（2,300 万円）、無線 LAN 環境拡充、証明書自動発行機、	4,300 万円
大短	80 周年大短新棟建築プロジェクト関連（3,000 万円）、機器修繕、消防設備更新	3,840 万円
中学	床修繕	80 万円
学園全体	対外ネット接続環境再整備、寄付金管理システム、各種カスタマイズ	2,000 万円
学園全体	非常用発電機、消防設備更新、警備小屋関連	670 万円
	合計	1 億 890 万円

なお、大学短大においては、コロナ禍における教育の質の保証及び向上をはかるために、前年度より2か年かけて総額8,300万円の整備を行います。2021年度においては、講義室AV整備費として2,300万円の予算配分を行い、前年度に引続き大短教室等の整備を行います。

3. 収支見通し

事業活動収支予算書「教育活動収支」の収入の部では、前年度2,830百万円でしたが、168百万円増加し、本年度は2,998百万円となります。主な要因は、学生生徒納金及び経常費補助金の141百万円増加です。学生等数が学園全体で51人増加したこと、及び高等教育の修学支援新制度の影響によるものです。その他には退職金交付金収入が31百万円増加しています。

支出の部では、前年度2,796百万円でしたが、160百万円増加し、本年度は2,956百万円となります。主な要因は、教職員の欠員補充および退職金増による人件費増加59百万円、高等教育の修学支援新制度の影響等による奨学費増加77百万円、大短新棟建設にかかる費用等で手数料42百万円増加です。その結果、教育活動収支差額は42百万円の収入超過、前年度比8百万円の改善となります。

「教育活動外収支」は前年度とほぼ同額であり、教育活動収支と教育活動外収支の合計である「経常収支差額」は43百万円の収入超過、前年度比8百万円の改善となります。

「特別収支」については、今年度は施設設備補助金を見込まないことから前年度比5百万円の収入減少となり、特別収支差額は3百万円の支出超過となります。

「基本金組入前当年度収支差額」は経常収支差額と特別収支差額の合計で40百万円の収入超過、前年度比4百万円の改善となります。

「基本金組入額」は62百万円です。第1号基本金は、大短講義室整備費用等を計上していますが、借入金返済が29百万円減少し、前年度比32百万円減少となります。大短新棟建設のための第2号基本金は組み入れ計画の再協議中であり、3月の理事会にて今年度も組入れをしない事を決定します。なお、大短新棟のための資金1億6千6百万円は、減価償却引当特定資産に組入れています。

「当年度収支差額」は、22百万円の支出超過、前年度比36百万円の改善となります。

「前年度繰越収支差額」に「当年度収支差額」の合計である「翌年度繰越収支差額」は4,699百万円の支出超過となります。

4. 資金収支予算の概要

(単位：百万円)

		H29 決算	H30 決算	H31 決算	R2 予算 (A)	R3 予算 (B)	増減 (B-A)
	学生生徒等納付金収入	2,079	2,020	2,002	1,949	2,034	84
	手数料収入	35	36	38	35	35	0
	寄付金収入	10	19	25	9	7	△2
	補助金収入	822	771	789	791	844	53
	資産売却収入	2	0	1	0	0	0
	付随事業・収益事業収入	22	17	18	16	15	△2
	受取利息・配当金収入	2	2	2	2	2	0
	雑収入	150	72	48	33	63	30
	借入金等収入	1	2	1	1	1	0
	前受金収入	427	448	444	432	432	0
	その他の収入	748	845	665	575	607	32
	資金収入調整勘定	△557	△498	△522	△467	△487	△20
	(当年度資金収入) ①	(3,740)	(3,735)	(3,511)	(3,376)	(3,552)	176
	前年度繰越支払資金	611	623	766	* 739	* 772	△27
	収入の部合計	4,352	4,358	4,277	4,115	4,324	209
	人件費支出	2,166	2,005	1,940	1,908	1,986	79
	教育研究経費支出	523	510	554	512	627	115
	管理経費支出	118	122	133	148	131	△17
	借入金等利息支出	3	2	2	1	1	0
	借入金返済支出	81	81	81	52	23	△29
	施設関係支出	24	10	35	0	61	61
	設備関係支出	102	22	158	75	47	△28
	資産運用支出	134	128	44	147	194	47
	その他の支出	604	738	604	557	571	15
	資金支出調整勘定	△26	△25	△45	△24	△90	△66
	(当年度資金支出) ②	(3,729)	(3,592)	(3,506)	(3,375)	(3,551)	176
	次年度繰越支払資金	623	766	771	740	773	33
	支出の部合計	4,352	4,358	4,277	4,115	4,324	209
(当年度資金収支) ①-②		11	143	5	1	2	0

5. 事業活動収支予算の概要

(単位：百万円)

			H29 決算	H30 決算	H31 決算	R2 予算	R3 予算	増減
			(A)			(B)	(B-A)	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	2, 079	2, 020	2, 002	1, 949	2, 034	84
		手数料	35	36	38	35	35	0
		寄付金	10	9	15	10	8	△2
		経常費等補助金	818	771	757	787	844	57
		付随事業収入	22	17	18	16	15	△2
		雑収入	150	72	48	33	63	30
		教育活動収入計	3, 114	2, 925	2, 877	2, 830	2, 998	168
	支出	人件費（退職給与引当金繰入額を除く）	1, 994	1, 922	1, 889	1, 881	1, 912	31
		退職給与引当金繰入額	149	92	61	62	89	27
		教育研究経費	708	702	741	696	814	118
		（うち減価償却費）	(185)	(192)	(188)	(185)	(187)	(3)
		管理経費	126	130	142	156	140	△16
		（うち減価償却費）	(8)	(8)	(9)	(9)	(9)	(1)
		徴収不能額等	0	0	0	0	0	0
教育活動支出計	2, 977	2, 846	2, 833	2, 796	2, 956	144		
教育活動収支差額		137	79	44	33	42	8	

教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	2	2	2	2	2	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	2	2	2	2	2	0
	支出	借入金等利息	3	2	2	1	1	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	3	2	2	1	1	0
	教育活動外収支差額		△1	0	1	1	2	0

経常収支差額			136	79	45	35	43	8
--------	--	--	-----	----	----	----	----	---

特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	0	0	0
		施設設備寄付金	0	0	10	0	0	0
		現物寄付	0	2	2	0	0	0
		施設設備補助金	4	10	32	5	0	△23
		過年度修正額	0	0	0	0	0	0
		特別収入計	4	12	45	5	0	△5
	支出	資産処分差額	60	4	29	3	3	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	60	4	29	3	3	0
	特別収支差額		△56	8	15	2	△3	△5

基本金組入前当年度収支差額			80	87	60	36	40	4
基本金組入額合計			△224	△211	△217	△94	△62	32
当年度収支差額			△144	△124	△156	△58	△22	36

前年度繰越収支差額			△4, 194	△4, 338	△4, 462	*△4, 646	*△4, 677	△31
基本金取崩額			0	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額			△4. 338	△4. 462	△4. 619	△4. 703	△4. 699	5

(参考)

事業活動収支計（＝帰属収入）	3,120	2,939	2,940	2,837	3,000	164
事業活動支出計（＝消費支出）	3,040	2,853	2,922	2,800	2,960	160

＊ 2020 年度予算は、2019 年度決算確定前に作成しております。

2021 年度予算は、2019 年度決算を反映しております。